

## 「感染防止対策」と「学校生活の充実」の二刀流が実現した2学期!

－仲間とともに努力をしたり、知恵を出し合い工夫したりすることの大切さも学びました－

校長 加藤 隆史

本日、2学期の終業式を行いました。1学期に引き続き、保護者や地域の皆様にご温かく見守られて、なんとか無事に2学期を終えることができました。

終業式に子どもたちに以下のような話をさせていただきました。長文となりますが、ご一読くださり、ご家庭や地域の皆様も共有にしていいただければ幸いです。

2学期に土岐小学校みんなで「できた!」と思うことを話します。

2学期の始め、新型コロナウイルスの第6波がきていました。この波を土岐小学校が乗り越えるため、私はアメリカで大活躍をしている大谷翔平選手みたいに、「新型コロナウイルスの感染予防を頑張ること」と「勉強や行事を仲間とともに頑張ること」の「二刀流」を頑張りました。

その実現に向け、いろんな姿をみることができました。

- ・「おはようございます。熱をはかってきました」とこれまで以上にみんなも、お家の方もがんばった朝の健康チェック
- ・「マスクをはずしたら、しゃべらない」を守って、全校が一番シーンと静まり返る給食の時間
- ・お家の方には来てもらえなかったけど、全校が運動場にそろって、拍手でがんばりを讃え合った運動会
- ・行き先や日程が変わったけど、みんなが笑顔になった修学旅行や根ノ上研修、そして社会科、生活科見学
- ・マスクをつけながらも仲間と教え合い、励まし合いながら頑張った毎日の授業

今、こうしてみんなで終業式を迎えられたということは、この「二刀流」が「やりきれた!」という証拠です。それができたのは、みなさん、お家の方、先生たちの工夫や協力、そして努力があったからです。

オミクロン株が世界で流行しており、3学期も、まだまだ油断はできません。引き続き土岐小学校は「二刀流」でがんばっていきます。そして、この先、新型コロナウイルスの他にも、いろんな困難に出会うかもしれません。そんなとき、みんなで心をつなげて、努力したり、工夫したりすることで乗り越えられることも学べたと思います。

今年の冬休みは17日間という長い休みになります。こんなにたくさん休みがあると正直、ワクワクします。コロナウイルスが少し落ち着いている中、これまでできなかったことができそうです。私も、ずっと会えなかった遠くにいる家族や仲間と会えるかなと楽しみにしています。

その長い休みの中で、一番大事にしてほしいことは、自分の命を大切にすることです。生徒指導の大野先生の話をしっかり聞いて、約束を守ることが大切です。

全校のみなさん2021年、本当にお疲れ様でした。ぜひ、よいお年をお迎えください。そして、1月11日には必ず元気な顔で土岐小にきてください。

この話のように、子どもたちの頑張り、ご家庭及び地域の皆様のご協力あつての2学期であったと、心より感謝をしています。明日からの冬休み、感染防止対策をとりながらも、よい時間をお過ごしください。皆様、よいお年をお迎えください。